

一宮市における自転車に関わる社会的課題

- 2019年（R1）12月に「一宮市自転車活用推進計画」を策定し、そのなかで「自転車事故のない安全安心な社会の実現」を基本方針の一つに位置づけている。
- 人口千人あたりでみると、2023年（R5）の一宮市の自転車事故死傷者数は愛知県内の平均を上回っている。愛知県の平均に近づくためには、約30%の削減が必要。

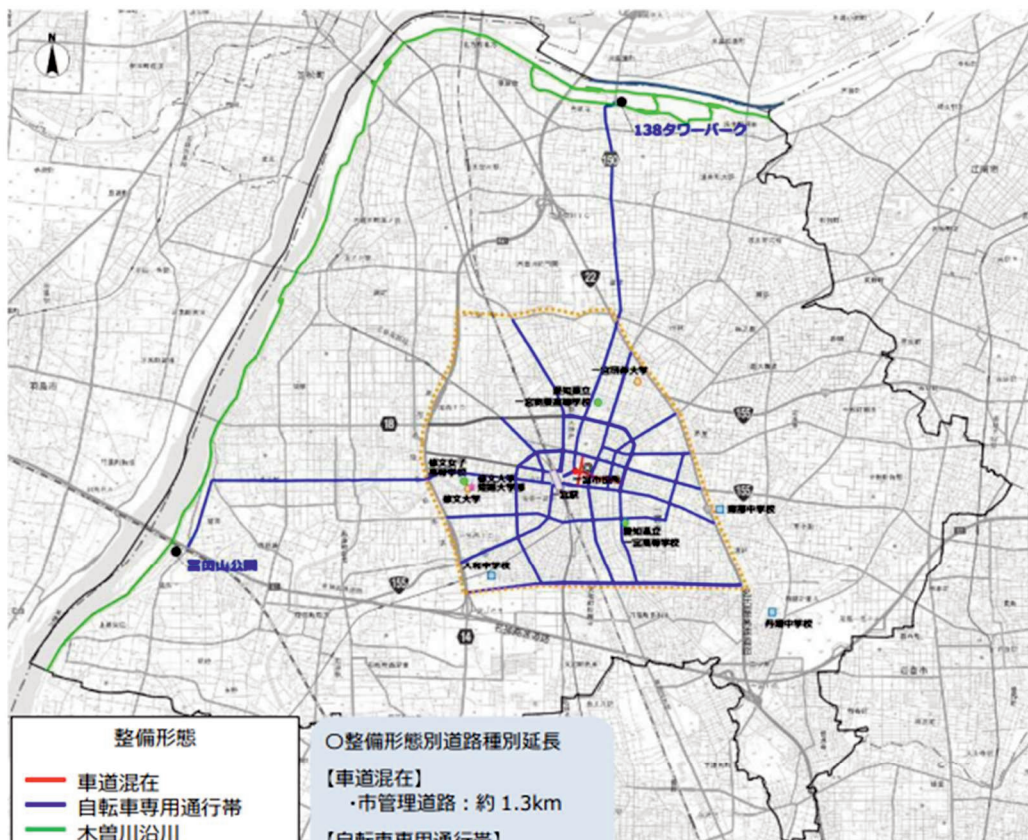
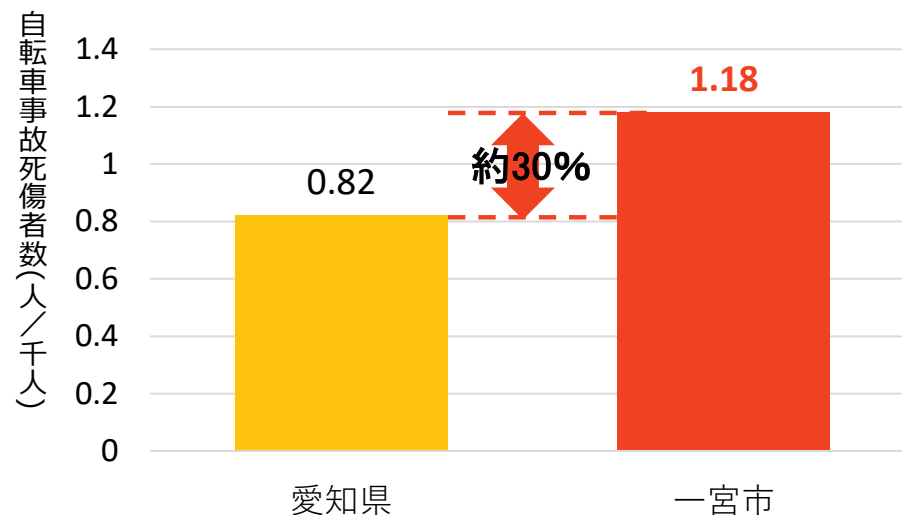


図 整備形態の選定結果

◆人口千人あたりの自転車事故死傷者数 【2023年（R5）】



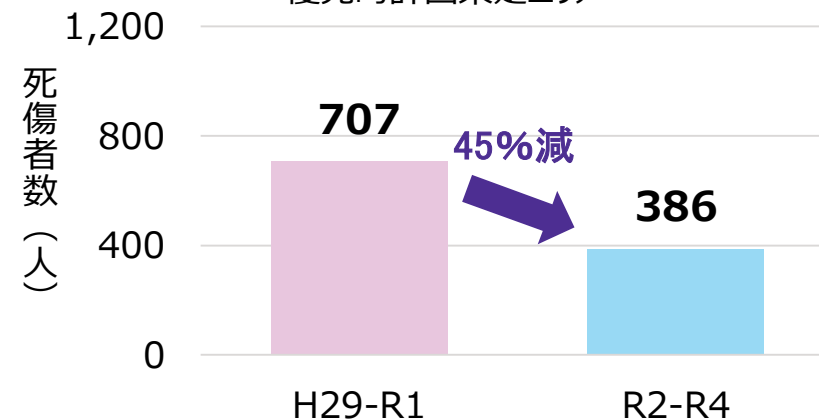
出典：愛知県警察本部交通部「愛知の交通事故 令和5年版」
愛知県HP「あいちの人口（愛知県人口動向調査結果）」
（2024年1月1日時点）

自転車の自転車活用推進計画による効果

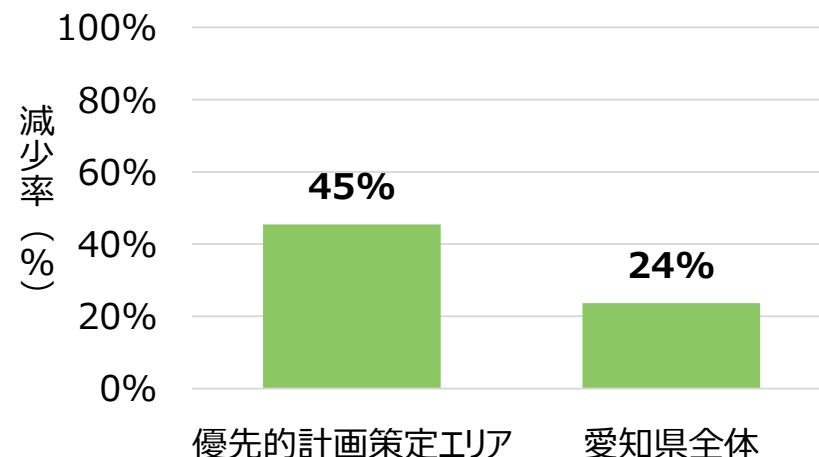
- 一宮市自転車活用推進計画策定前後で、優先的計画策定エリア内の自転車関連事故死傷者数※を比較すると、策定前（H29-R1）の707人から策定後（R2-4）は386人と約45%減少している。
- 愛知県全体の自転車関連事故死傷者数の減少率約24%と比較し、大きな減少率となっている。

◆自転車関連交通事故死傷者数の変化

優先的計画策定エリア



◆自転車関連交通事故死傷者数の減少率の比較 (R2-R4) / (H29-R1)



出典：愛知県警交通事故データ

愛知県警察本部交通部「愛知の交通事故 令和5年版」

※自転車が絡む事故の当事者で自転車以外も含む

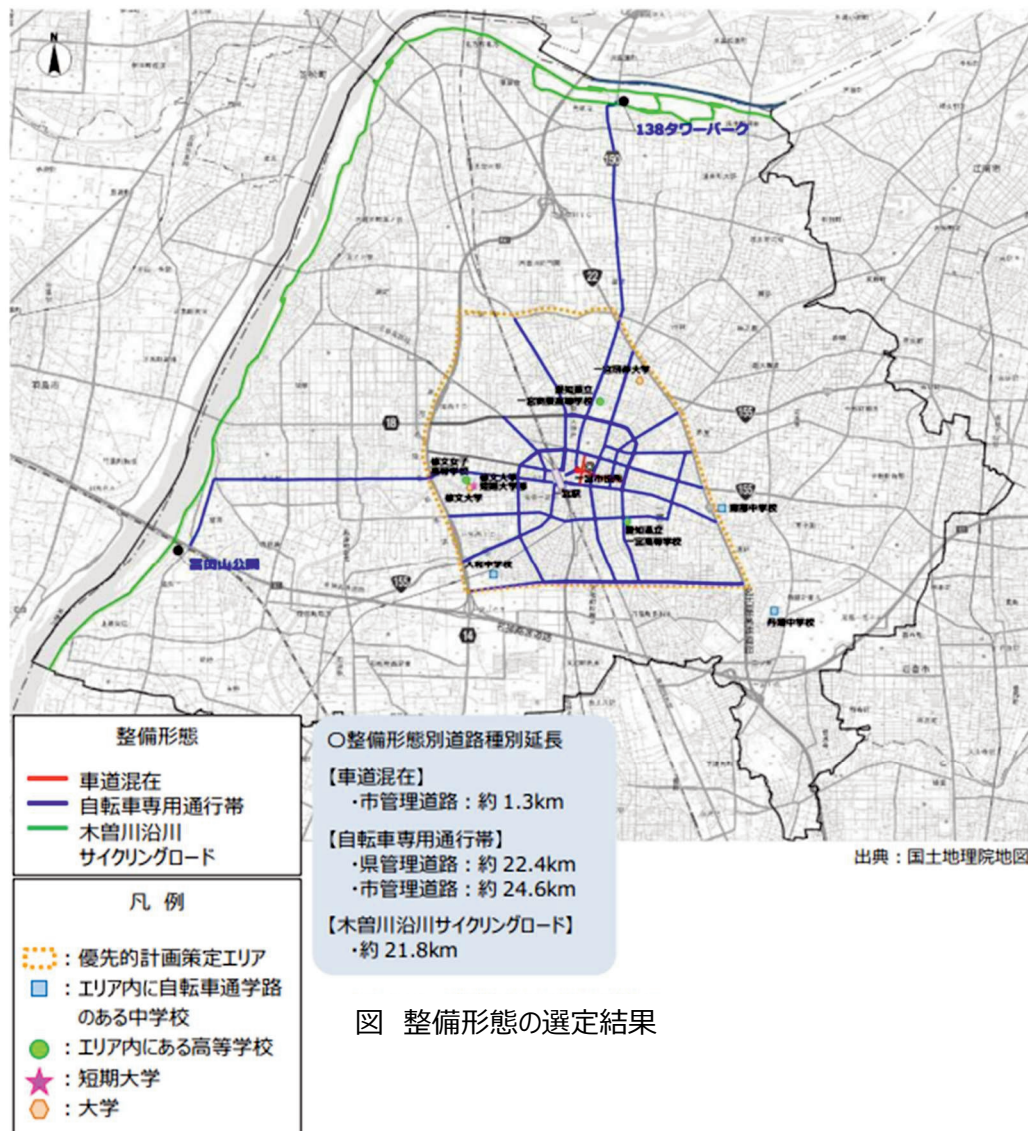
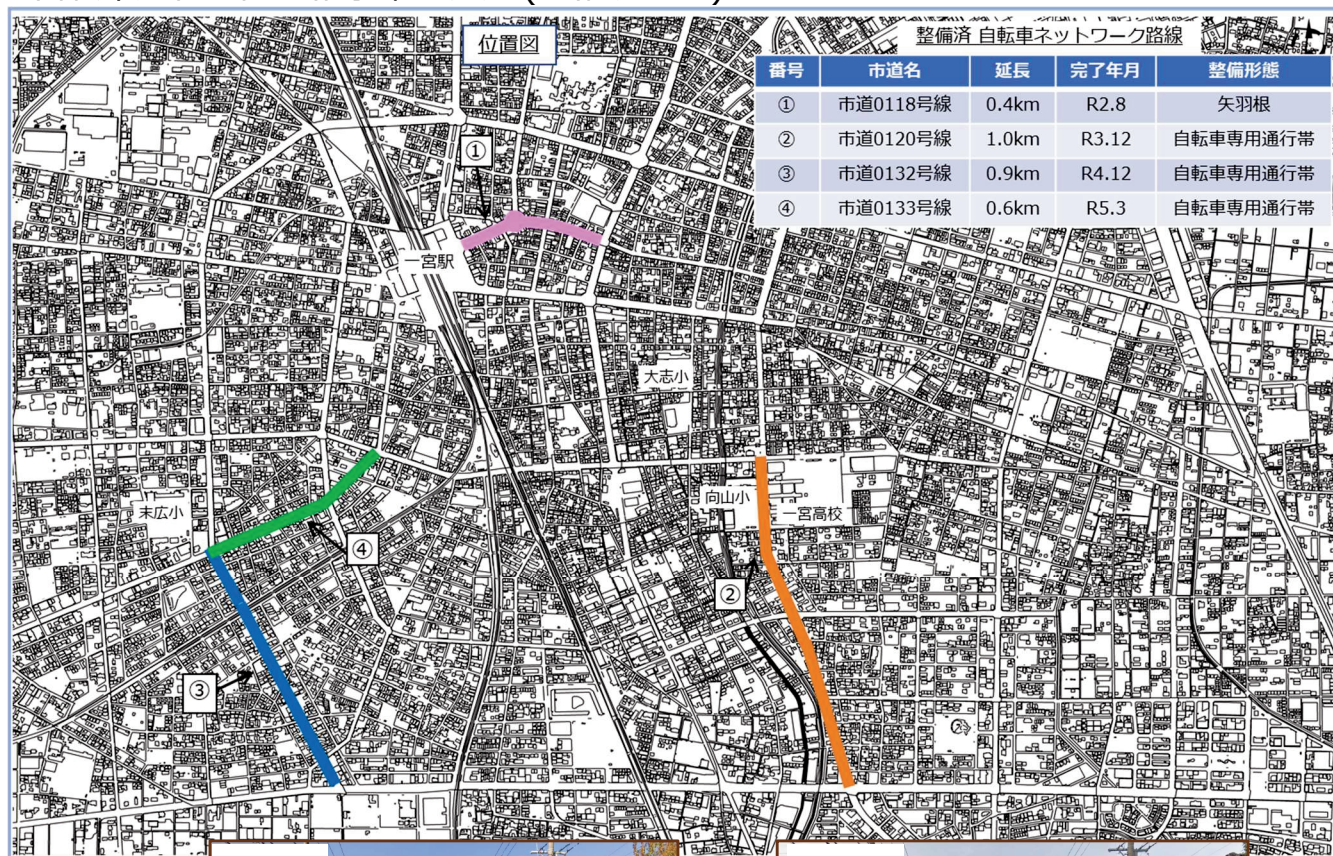


図 整備形態の選定結果

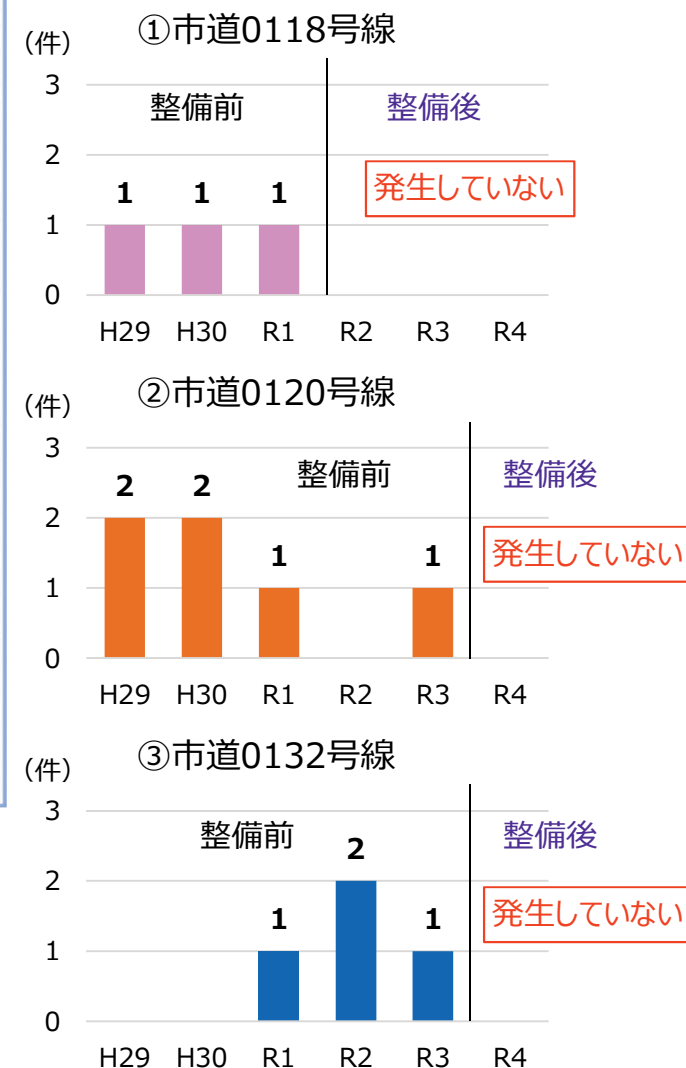
整備済み区間における効果（自転車の安全性）

- 一宮市の自転車通行空間整備事業の現況としては、下記の4路線の整備が完了している。
- 整備済み区間において、整備前後の比較が可能な①市道0118号線、②0120号線、③0132号線ともに、**整備後に自転車関連事故は発生していない。**

◆自転車通行空間整備事業の現況（整備済路線）



◆自転車通行空間整備済み区間別の自転車関連交通事故件数の推移



【整備事例】
③市道
0132号線

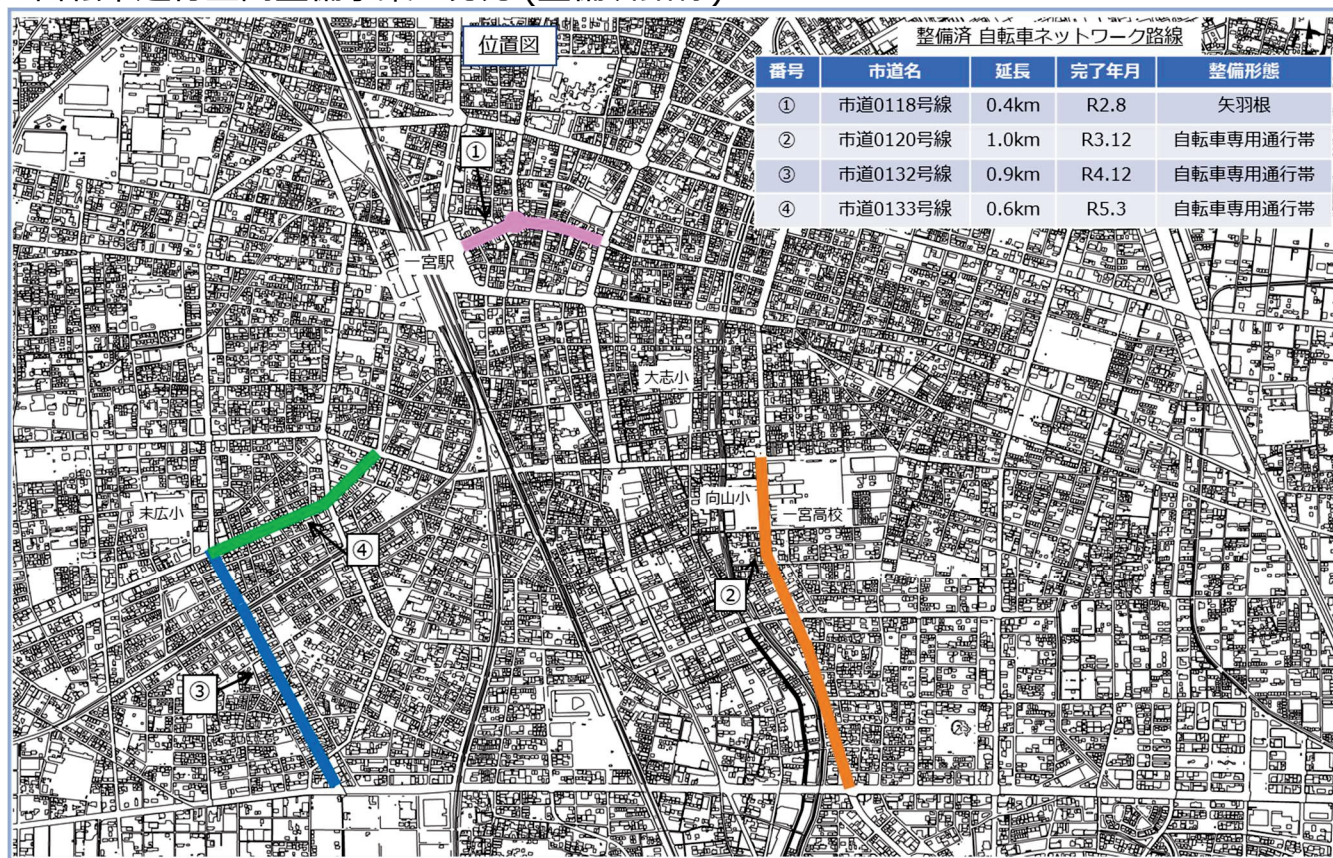


出典：愛知県警交通事故データ

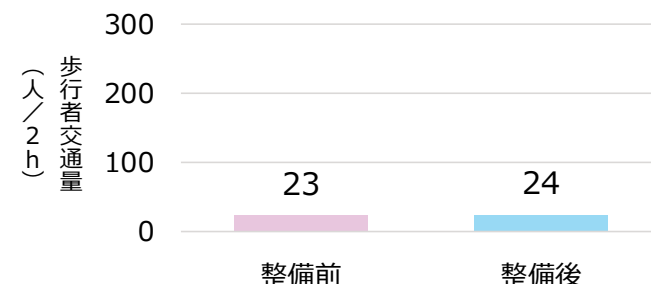
整備済み区間における効果（歩行者の安全性）

- 自転車専用通行帯の整備により、市道0120号線を通行する自転車のうち、自転車専用通行帯（車道）を通行する割合が増加し、自転車の安全性が向上。また、歩道を通行する割合が減少しており、**歩行者の安全性の向上**に向けて前進。
- 自転車通行空間の順守率は整備前の17%から整備後は42%と約2.5倍に増加している。

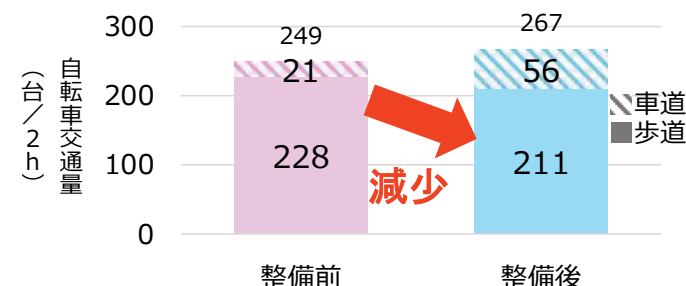
◆自転車通行空間整備事業の現況（整備済路線）



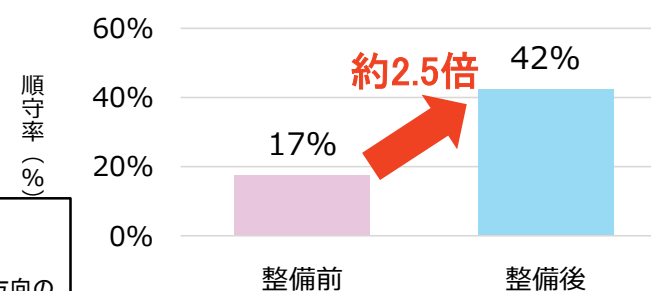
◆市道0120号線の歩行者交通量の変化



◆市道0120号線の自転車交通量の変化



◆自転車通行空間の順守率の変化



交通量調査結果
 整備前 (H30年5月25日 (金))
 整備後 (R6年10月4日 (金))
 7:00~9:00 (2h)

②市道0120号線

